



# 学校便り

夢や志をもち、やさしくかしくたくましい鎮西児童生徒の育成

令和3年9月24日  
通信 第9号  
飯塚鎮西小学校  
TEL 0948-22-0298  
校長 伊東計太郎

## 飯塚市 PCR検査事業

別紙の飯塚市教育委員会からの文書（※本日配布）にありますように、感染症対策としてPCR検査事業が実施されます。実施にあたり、保護者の皆様には、以下のような検査に関する方法、留意点等をご確認いただきますようお願いいたします。

- 1 検査の種類      A: 抗原検査（症状有り）      B: PCR検査（症状無し）
- 2 検査対象者      市内全児童生徒、市立小中学校教職員等
- 3 検査の要件及び検査方法

	検査の要件	検査の方法
A: 抗原検査 (鼻腔検査)	・登校後、体調に変調（発熱、咳、のどの痛み等）があり、何らかの症状がある場合	・綿棒を鼻腔口（鼻の内側）から2センチを入れ、粘膜を拭いとる方法
B: PCR検査 (だ液検査)	・家庭に「陰性」と判断された濃厚接触者がいる場合 ・感染者との接触歴があるなど、感染が心配な場合 ・感染リスクの高い教育活動に参加するので心配な場合	・必要量のだ液をチューブに入れる方法 ※ 検体を検査センターに運ぶ

#### 4 留意点(必ずお読みください。)

- (1) 検査は強制ではありません。
- (2) 検査は、保護者からの同意書の提出があり、かつ、直ちに医療機関を受診できない場合等に、本人の意思、保護者の了解を得て（電話等で伺います）判断し、実施します。
- (3) 検査は、児童生徒本人が学校で行います。（職員が検査に立ち合い実施）
- (4) 発熱等の症状がある場合は、登校せずに自宅で休養することを徹底する。発熱等の症状があるから学校で検査を受けるというのではなく、医療機関を受診をすすめます。
- (5) 検査の結果は学校から連絡します。検査の結果、陽性判定が出た場合は、確定診断をするため、医療機関を受診する必要があります。また、陰性判定の場合でも、偽陰性の可能性もあることから、医療機関を受診をすすめます。

## 「健康チェックカード」の提出を重要に考えています

2学期から、児童下足室（校舎出入口）で「健康チェックカード」の確認、提出を求めています。家庭と学校との接続部分である場所で、体調の変調が無いかの確認を行うことは、学校として感染症予防の観点からも重要なことだと考えています。

しかし、毎朝、複数の職員で「健康チェックカード」を確認していますが、カード忘れ、検温をしていない子どもたちが毎日平均50人(全体7%)程います。

確認することで、その日1日の教室での生活の見守りに生かしています。

どうか、家庭での検温をお願いします。そして、「健康チェックカード」を提出するようにお子さんに促してください。ご協力願います。

## 学校行事について

### ○ 10月15日（金）「秋の遠足」について※5年生は登山を予定

学校では、実施に向けて計画を進めています。感染状況、それに伴う宣言の発令、天候不良も考えられますが、当日は、給食を止めていますので、中止に関係なく、お弁当持参となりますので、ご対応についてご協力願います。

### ○ 11月1日（月）～2日（火）「6年生修学旅行」について

6年生は、修学旅行で長崎方面に向かいます。感染拡大に伴う緊急事態宣言や、本校に感染の広がりがある場合は延期いたしますが、10月1日にオンライン説明会を行い、説明内容に応じて実施する予定です。

### ○ 11月10日（水）「体育学習発表会」について

体育科学習の発表の場として、走る（陸上運動）、踊る（表現運動）をテーマに学習発表を行います。1・2年生（低）、3・4年生（中）、5・6年生（高）の3つの学年区分ごとに行います。保護者の方々の参観については、社会的距離の確保から、一家庭の参加人数を今後の感染症等の状況から10月初めには判断してお知らせいたします。

## 今後も以下の対応にご協力願います。

- (1) 児童及び同居の家族に「発熱等の風邪の症状」「だるさ(倦怠感)」等の症状がある場合は、登校する前に必ず学校に連絡するとともに、児童の登校を自粛してください。
- (2) 児童及び同居の家族がPCR検査等を受けることになった場合は、登校前に必ず学校に連絡するとともに、児童の登校を自粛してください。また、登校後に同居家族がPCR検査を受けることがわかった場合は、速やかに学校に連絡してください。学校では、早退等の措置をとり、児童は検査結果が判明するまでは、自宅待機させてください。
- (3) 家族と関係する会社の方や親せき、知人等が、PCR検査等を受ける、または濃厚接触者に特定される恐れがある場合も、ご家族との接触状況等を十分に考慮され、児童の登校について適切なご判断をお願いします。

#### 題：「うれしい言葉」

ぼくが友達に言われてうれしい言葉は、「ありがとう」です。

この言葉は、ぼくが遊んでいるときに、歩いているおばちゃんのぼうし落ちて、拾ってあげたら、「ありがとう」って言われました。うれしかったです。ぼくは、とてもうれしかったです。とてもいいことをしたと思いました。  
(本校児童)

言われてうれしい言葉は、その場で言葉を返したり、気持ちを伝えたりできなくても、自分の頭（心）の中に残るものです。そのうれしさは、また今度も言われたいと、自分の行動に変化をもたらします。「ありがとう」は、魔法のような言葉と言われますが、「ありがとう」と言える、「ありがとう」を感じ取れる素直で、真っすぐな気持ちが最も素晴らしいことだと思いました。